

日本医療情報学会関西支部 2020 年度第 2 回講演会
関西医療情報処理懇談会 (KMI) 第 62 回例会
関西医療情報技師会 第 37 回勉強会
合同講演会

電子カルテに入力されたデータを何のために、どのように二次利用するかについて、最近、色々な方法が考えられています。今回は電子カルテに、どのようにデータを貯めるのか、どのように貯まったデータを活用するのか、について、実際に活用されている事例や、今後の期待される方法などについて講演いただき、今後の方向性についてディスカッションを行う講演会を企画しました。大勢のご参加をお待ちしております。

テーマ : 電子カルテを使った臨床研究用データの収集・活用
日時 : 2020 年 9 月 19 日 (土) 13 時 30 分～16 時 30 分
場所 : Webinar による開催
定員 : 800 名
参加費 : 無料
医療情報技師ポイント : 4 ポイント

プログラム :

開会挨拶	日本医療情報学会 関西支部長 松村泰志 (大阪大学)	[13:30～13:35]
趣旨説明	関西医療情報技師会 真鍋史朗 (大阪大学)	[13:35～13:40]
講演 1	小田直之 (がんゲノム情報管理センター) 「がん遺伝子パネル検査における、臨床情報の収集と今後の動向」	[13:40～14:10]
講演 2	木村映善 (愛媛大学医学部 医療情報学講座) 「ODHSI による電子カルテデータ活用の展望」	[14:10～14:40]
講演 3	真鍋史朗 (大阪大学大学院医学系研究科 医療情報学) 「OCR-net による、画像・サンプル・臨床情報のデータ収集」	[14:40～15:10]
講演 4	松本繁巳 (新医療リアルワールドデータ研究機構) 「サイバーオンコロジーによる、電子カルテデータ収集と活用」	[15:10～15:40]
休憩・準備		[15:40～15:45]
質疑・ディスカッション		[15:45～16:25]
	座長 : 平松治彦 (国立循環器病研究センター)、高井康平 (日本 IBM 株式会社)	
閉会挨拶	KMI 副会長 平松治彦 (国立循環器病研究センター)	[16:25～16:30]

主催 : 日本医療情報学会関西支部・関西医療情報処理懇談会・関西医療情報技師会